

# 北部太平洋大中型まき網地域漁業復興プロジェクト（銚子地区）

事業実施者：銚子市漁業協同組合

使用船舶名：第七十八山仙丸（新型網船300トン）  
第三十五山仙丸（運搬船292トン）

支援期間：平成26年4月1日～平成29年3月31日

（大中型まき網漁業）

## （取組の内容）

### ● 船団の合理化：

- ・大型化・運搬機能付き網船を導入し、1船団3隻体制（網船、探索船、運搬船）を2隻体制（網船・運搬船）に縮減し、生産コストの削減を図る。

### ● 操業の省コスト化：

- ・探索船の削減により乗組員を縮減（45名→40名）し、人件費の削減を図る。
- ・1船団2隻体制への移行により漁船維持経費の削減を図る。

### ● 省力化・労働環境：

- ・フィッシュポンプの導入により、漁獲物の取込み作業の効率化を図る。
- ・新型網船において十分な復原性、居住環境、作業スペースを確保する。

### ● 漁獲物の付加価値化：

- ・船上での漁獲物の規格選別や漁場からの高鮮度運搬等により、魚価向上（72.8円/kg→87.4円/kg）を図る。



運搬機能付き網船（300トン）



小口鮮魚パックによる水揚

## （事業の成果）

- 大型化した新型網船の導入により操業性能が向上し、**支障なく船団構成を縮減**できた。
- 船団構成の縮減により、乗組員を5名削減し、人件費約40百万円の縮減に繋がった。また、漁船保険、船舶検査料などの**漁船維持経費の縮減に繋がった**。
- 新型網船導入により、船体の復原性と居住性・作業性により優れた労働環境が整備された。
- 漁獲物の付加価値化を図り、高鮮度製品の単価は通常製品の1.8倍～3.8倍となった。平均単価は72.2円/kg（2年平均）で計画（87.4円/kg）を17%下回った。
- **償却前利益**は336百万円/年（3年平均）で**震災前**（80百万円/年）を上回り、**今後の漁業経営の安定と次期代船の建造が期待される**。